

♪ オペラ歌手への道 ♪

～遠回りばかりの音楽修行～

第63期生（新45期）福本 円



この原稿の依頼を受けた日、夏の甲子園大会の開会式が行われました。10年前、ちょうど私が高校3年生の時に能代高校が出場をしました。甲子園へ応援に出かけたことが昨日のように思い出されます。月日の流れは早いものです。

今でもそうですが、当時能代や私の育った八竜町はスポーツが盛んでした。そんな環境の中で音楽の道を志したことが、振り返ってみると自分でも不思議でなりません。

初めてピアノに触ったのは5～6歳のころでした。当時、私の両親の仕事が忙しくて、毎日幼稚園への迎えが遅く、1人で寂しく待っていたものでした。その時に幼稚園にあった1台のピアノに興味を持ちました。それが私の音楽への道のスタートでした。

ピアノを習い始めて数年は家にはピアノがありませんでした。当時は紙鍵盤なるもので指の練習をしていれば充分と両親は考えていたのか解りませんが、それが良くなかったのかもしれない。鍵盤を押して音が出るという反応が習い始めの子どもには重要だと知らされました。同時に私にはピアノの才能がなかったらしく、後から習い始めた人達にどんどんバイエル等の練習曲を追い越されました。ピアノを弾いてもちっとも面白くないので、何度辞めたいと思ったかわかりませんが、親にいつも反対されました。

中学に入って、ピアノ以外の楽器に触れる機会があり、それまで音楽と言えばピアノしかないと思っていた私は、次第に音楽の魅力にとりつかれました。その当時の音楽の先生がたまたま声楽専攻の方で、授業中、合唱での私の声を聴いて誉めて下さいました。これまで先生に期待もされず、誉められたことのなかった私が、初めて期待もされ誉められました。今でもその先生とは交流しています。

大学を選ぶとき音楽系にしようと考えました。音楽の先生でもなろうかなと教育学部を受けようと思いましたが、国立の大学に受かる成績がなかったので、私立を受験しようと思いました。

秋田の田舎から私立の音大を受験するのは情報不足も含め、恵まれない環境でした。現役では無理でした。

母の知り合いの紹介で音大の先生と出会い、声楽で受験するように勧めて頂きました。それからピアノの先生、受験に必要なソルフェージュ等を教えている塾も紹介していただき、高校を卒業してから1年間勉強しました。

大学では歌曲や宗教曲等を主に勉強しました。オペラの授業は抽選があり、外れて受ける機会があり

第26生期（新8期）
能代高校8期関東横浜会

会長 北村 祐三
(能代市出身)

福井県敦賀市金山65号140番地
電話 0770-22-1340

第26期生（新8期）
能代高校東京同窓会

幹事 岩見 尚夫
(能代市出身)

〒146-0095
東京都大田区多摩川2-24-62
芙蓉ハイツ 2-803

ませんでした。

オペラに魅力を感じたのは大学2年の時、オーチャードホールでのイタリアのオペラ歌手フレニーのコンサートへ行ってからでした。それ以来、イタリアオペラ黄金期の歌手にも興味を持ちました。テバルディやモナコ、ステファノ、特にテノールのコレッリが大好きです。

話が脱線しましたが、オペラは歌いながら演技もあり、是非やってみたいと思いました。私の通った大学はドイツ系、宗教曲の音楽が主流だったので、イタリアオペラを勉強するには不利な環境でした。それに当時、オペラを歌うには声量が足りないと言われました。恥ずかしい話、実は声の出し方が大学時代は解りませんでした。考えてみると、発声を教えてもらう機会がなかったのです。

卒業して2年程経ってから、ベル・カントの発声を指導して下さいる先生と出会いました。もっと早くに出会いたかったです。これまでの私の発声が、ベル・カントとは程遠いことを知らされました。

ベル・カントとは「美しい声」の意味で、18世紀に成立したイタリア式の歌唱法で音の美しさ、ムラのない響きや滑らかな歌いまわしをすることに重点を置いています。横隔膜を使った腹式呼吸で発声し、どのようなホールにも対応できるような歌唱法です。イタリアオペラやモーツアルトのオペラに適しています。

現在は日本オペラ振興会（藤原歌劇団と日本オペラ協会が合併設立した財団）の研究生としてモーツアルトから勉強しています。

遠回りしましたが、オペラ歌手への道のスタート地点にやっと立ちました。これからの道のり、どんな試練があるのか知りませんが、オペラ歌手「清水 円」が認められるまで突き進みたいです。

能代高校からも芸術の道を志す人がどんどん増えて欲しいと願っています。長々と文章を読んで頂いた皆さん、ありがとうございます。



第26期生（新8期）
能代高校同窓会 青森支部 会長

家庭の銀行
みちのく銀行

頭取 原田和夫

〒030-8622 青森市勝田1丁目3番1号
TEL 017-774-1111
FAX 017-776-3807
E-mail : hisho@michinokubank.co.jp

ビル管理

株式会社 ホンマテクニカル

代表取締役 本間義章

〒167-0015
東京都杉並区荻窪5-30-12-510
TEL 03-3391-7001(代表)
FAX 03-3391-7060
携帯 090-3247-1770